

## 学校教育目標

自ら学び考え  
主体的に行動する  
心豊かな生徒

## 目指す生徒像

胸をはり  
瞳輝く東中生

# 学校だより 瞳ひとみ 輝かがや



第3号 令和4年6月1日 川越市立東中学校長 福田和子

## 「教育が一人前の社会人をつくる」家庭や地域の願いに応える 「守・破・離」の東中三カ年教育

先週28日土曜日に第62回体育祭を無事、実施できました。保護者の皆様にご参観いただきましたことに感謝いたします。当日は、感染対策、熱中症対策の両立のため、生徒の席は、一人一人区切った応援席とし、マスクを外しやすくしました。保護者の参観エリアは、昨年より広げ、各家庭2名の参観としました。PTA役員、東中学校おやじの会の皆さんには、受付や写真撮影、パトロール等、ご協力に感謝いたします。

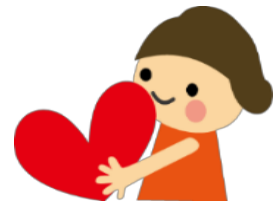
### 学校朝会の話

### 一部抜粋

さて、今日から6月です。生徒総会、学校総合体育大会市予選、3年生は修学旅行を控えています。一人一人が、自分の役割を確実に行うことで様々な活動が進んでいきます。体育祭では、「一人一人の協力」が「成功」につながりました。このあと行われる多くの活動は、生徒の皆さん「一人一人が力を発揮する」ことで「成功」につながっていきます。

今日は、今年度の東中学校の重点項目の一つ、「安全安心な教育環境」について話します。毎日、生活をしている場所を整え、学校生活を気持ちよく送ることができるようにするための方法「そうじ」についてです。日本の「そうじ」という文化は、多くの場面、世界の有名企業の経営者の間でも注目されています。それは「そうじ」をすることで5つの価値を見出すことができるとされているからです。その5つの価値とは、

- 1つ目、気づくことができる。
- 2つ目、謙虚になれる。
- 3つ目、感動の心がはぐくまれる。
- 4つ目、感謝の心がめばえる。
- 5つ目、心が磨かれる。



「気づく、謙虚、感動、感謝、心を磨く」この5つが身に付くことは、心の豊かさにつながります。そういったことも含め、「そうじ」が注目をされています。

1つ目の「気づく」とは、毎日のルーティンとしてのそうじだけでなく、汚れたところに気づく、きれいになっていることに気づく。このことが日頃の行動にも表れていきます。

2つ目の「謙虚になれる」とは、全校生徒が学校生活を安全に安心して送るためには、校内、すべての場所を整える必要があります。1年生は、使わない場所があったり、部活動や委員会活動で使ったり、自分が使わない場所もそうじの分担で担当することもあります。それでも、「謙虚な気持ち」で自分が使うことを考えながら自分の清掃分担場所を「そうじ」することが大切になってきます。

3つ目「感動の心がはぐくまれる」毎日のそうじは、特に何か変化があるわけでもなく、ただ、「そうじを行うという行為」だけですが、ひたすら全員でそうじをすることで校内がとてきれいに整うことは感動以外の何物でもありません。

4つ目「感謝の心がめばえる」自分が東中学校での学校生活を送るために教室や特別教室など多くの場所を使わせていただくことに対する感謝の心は大切なことです。

そして、5つ目は、心が磨かれる。「生活の場がどのような状態か」それは、そこにいる人の状況を表すといわれます。目に見えない中身を映し出す「鏡」になります。その教室やその場の価値を高めることもできます。居心地の良い場として皆が過ごしやすい場にもなります。

「そうじ」で5つの価値を見出せるよう、まずは、自分ができること「毎日のそうじの時間」を東中学校のために使い、「安全安心な教育環境」を全校生徒で作り出し、学校生活を気持ちよく送れるようにしましょう。「自ら学び考え 主体的に行動する 心豊かな東中生徒」として、毎日の学校生活を大切にするとともに「皆で使う場」を整えていきましょう。